| 授業科目名・形態 | 公衆衛生看護管理論　　講義 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 下園　美保子 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | ４年前期 |
| 科目ナンバリング | N7-4011pht | | | | |

**【授業の主題】**

保健活動の目的は、住民の健康の保持・増進の支援である。公衆衛生看護管理は、この目的を達成するために保健師が行う管理機能の総称である。本授業では、公衆衛生看護管理が保健活動の目的達成、ひいては住民の健康水準の向上につながっていることを学修する。また、新任期をはじめすべての保健師に管理能力が必要であることや、保健活動を行う上での保健師の職業倫理についても学ぶ。

**【到達目標】**

1）健康水準を高める公衆衛生看護管理の目的と機能が説明できる。
2）公衆衛生看護管理の各機能（地区管理、事例管理、事業・業務管理、組織運営管理、人材育成、予算管理、情報管理、健康危機管理等）について説明できる。
3）地域マネジメントと組織マネジメント及びそれらを支える管理機能について説明できる。
4）キャリアラダーからみた公衆衛生看護管理機能が説明できる。
5）管理的ポストが担う公衆衛生看護管理機能について説明できる。
6）保健師の職業倫理について説明できる。

**【授業計画・内容】**

第１回　公衆衛生看護管理の特徴；公衆衛生看護管理の定義・目的・機能
第２回　公衆衛生看護管理の特徴；公衆衛生看護管理活動の基本、保健師の職業倫理
第３回　公衆衛生看護管理の実際①；地域マネジメント機能
第４回　公衆衛生看護管理の実際②；組織マネジメント機能
第５回　公衆衛生看護管理の実際③；２つのマネジメント機能を支える管理機能
第６回　公衆衛生看護管理の実際④；管理的ポストが担う管理機能と安全管理
第７回　公衆衛生看護管理の実際⑤；実習経験から紐解く公衆衛生看護管理①(演習)
第８回　公衆衛生看護管理の実際⑥；実習経験から紐解く公衆衛生看護管理②(演習)

**【授業実施方法】**

基本的には講義形式で行うので、主体的に授業に参加すること。毎授業後にリアクションペーパーを提出する。第7・8回の演習では、テーマに沿ってグループ単位でディスカッションを行い、その後発表する。

**【事前・事後学習】**

＜事前学習＞講義回は、次回の講義範囲の教科書を読み、公衆衛生看護管理の各機能について理解を深めておくこと（毎回2時間程度)。・演習回は、グループディスカッションのテーマについて、実習経験を振り返り、自分の考えをまとめておくこと（毎回2時間程度)。

＜事後学習＞講義回は、リアクションペーパーの作成を通じて学びを整理し、実習経験との関連性を考察すること（毎回2時間程度)。演習回は、グループディスカッションや発表で得られた学びを整理し、多様な視点から公衆衛生看護管理を理解すること（毎回2時間程度)。

**【主な関連する科目】**　「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」「公衆衛生看護活動展開論」「公衆衛生看護学」

**【教科書等】**　公衆衛生看護学テキスト①　公衆衛生看護学原論　第2版. 医歯薬出版
新版　保健師業務要覧　第4版　2025年版. 日本看護協会出版会

**【参考文献】**

保健学講座　公衆衛生看護学概論. メジカルフレンド社
新版　保健師業務要覧　第4版　2023年版. 日本看護協会出版会
保健学講座2 公衆衛生看護支援技術　第1版. メジカルフレンド社

**【成績評価方法】**

筆記試験80%、課題提出10%、授業態度等10%

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

主に行政保健師としての実務経験で得られた公衆衛生看護管理機能を基盤とし、実例を織り交ぜながらグループワークを取り入れ、学生自らが考え習得できるように講義内容を工夫する。

**【学生へのメッセージ】**

保健師一人ひとりが公衆衛生看護管理機能を十分に発揮できるよう、講義では具体的な事例を用いてグループワークを織り交ぜながら行う。授業では、保健活動の中でも「管理機能」に焦点をあて、実習経験と結びつけながら具体的にイメージして受講することを心がけてほしい。